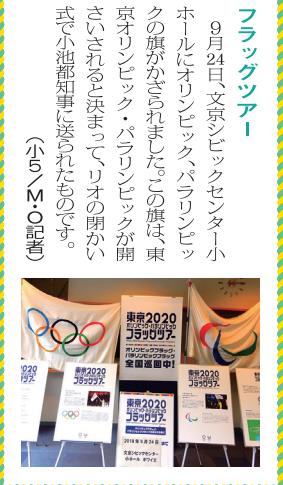


スポーツとボーカロイドミュージック



ボーカロイドユニット「音巫女(おとみこ)」の二人に楽器をおかりして、ひいてみました!



フラッグツアード

9月24日、文京シビックセンター小

ホールにオリンピック・パラリンピックの旗が掲げられました。この旗は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されると決まって、リオの閉かい式で小池都知事に送られたものです。

(小5/M.O.記者)

日本の文化ボーカロイド

9月24日(祝・月)に

小ホールで「パラリンピック700日前記念コンサート」が行われました。スポーツでおなじみの楽曲から日本で生まれ進化をし続ける「ボーカロイド(ボクロ)」が演奏されました。曲は千本桜や六兆年と二夜物語などのジャズから「ゴーストルーン」などのためらかな曲まで、はばい楽曲が演奏されました。(小5/M.O.記者)

最初は、「ボーカロイドが何を言っているのかまったくわからず、ボーッと聞いていただけでした。でも、よく耳をませているうちに、何を言っているのかわかるようになります。がぐぐく楽しくなりました。

照明などをすべて派手(はざめ)で始まつた時はおどろきました。私は、サイリウムという光るぼうのよなものを、あり、いっしょにもりあがりました。サイリウムも光るためのスイッチなどなく、おって光らせるので、これもまたおどろきました。

(小5/K.T.記者)

ボーカロイドは未来の楽器?

そもそもボーカロイドとは、日本の楽器メーカーがつい発した音声合成技術(ぎじゅつけい)で、パソコンで音楽を作れるソフトウェア、歌声を作るソフトのことです。スマホに曲をどうこみ、楽譜(かくふ)通りに弾(ひ)けば一つの曲になります。

天野亨(あまのとおる)さん

9月24日(祝・月)

</div